

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.12.24

No. 69



年末年始自分のこれからの生き方を考えよう

いよいよ本年もあとわずかとなりました。この1年皆さんにとって色々なことがあったと思いますが、世の中は相変わらずの不景気風が吹き、先行きに明るい見通しの立たない1年でした。特に就職希望者にとっては、進路で大分苦労した人が多く、未だに進路が決まらない人も何人かいます。進学者にとっては早い人では夏休み前に決まった人もいます。しかし、進学者は今年は苦労しなくても、2～4年後には同様の苦労を覚悟しなくてはならないでしょう。

これからはかつてのような好景気な時代は当分来ないかもしれません。大変難しい時代となりつつあります。こうした時代の中で、進路を考えると、どんな会社に入るか、どのような仕事に就くかも大事ですが、それ以上にどう生きていくかを本気で考えなくてはならない時代になっているような気がします。以前はあまり深く考えなくとも何らかの仕事に就けました。嫌になれば別の会社も探せました。これからは堅実な生き方を日頃から心がけないと、益々自分の思い通りにいかない時代になります。自分に何かウリを作らないと、生き残れない時代です。

この年末から新年にかけてそれぞれがもう一度これからの自分の生き方について考えを巡らせて欲しいものです。

「本年度の反省と新年度の決意を！」

後悔は、
過去を変えたがる気持ち、
反省は、
未来を変えようとする気持ち。

早急な効果を期待する前に地道な努力を



勉強をしていてちょっと難しくなると嫌になり、投げ出してしまうということがありがちです。例えば庭先に池を掘ったとします。最初に水を入れると、その水はすぐたまるでしょうか。一般的には中々たまらないでしょう。その時すぐにあきらめて放棄すれば、池は出来ません。水を注ぎすぐに染み込んでしまっても何度か繰り返しているうちに、回りに十分水が染み渡ればやがて水漏れが少なくなり池が完成します。

一般的には、何かをしてすぐに効果が出てくるのはまれです。表面的にはその効果がすぐに現れなくても、回りに十分染み込み機が熟せばやがて一気にその効果が出てきます。要はそこまで待てるかが問題です。ちょっと勉強しただけでテストによい点が取れるわけではありません。日ごろから努力を積み重ねていて初めて効果が徐々に出てくるものです。飛行機も長い助走を経て初めて天高く舞い上がるのです。

これからの人生の中でも、ちょっと頑張っただけの効果を期待するのではなく、地道な努力を重ねて初めて真の効果が出てくることを肝に銘じて欲しいものです。